



交流、生きがい育む食堂に



（左）有償ボランティアで働いている「たすけあい食堂」。以前は宅老所だった。佐賀市柳町で運営している「よってサロン」。以前は障害者就労支援施設だった。佐賀市唐人家の「よってサロン」。

唐人のよってサロン」営業している。働いているのは、4月に開店した。毎週のは有償ボランティアの女水曜日から午後5時まで。性たちで、年齢の中心は60

宅老所、障害者施設衣替え

【佐賀市】 NPO法人「たすけあい食堂」は、佐賀市内2カ所で高齢者が有償ボランティアで働く食堂を運営している。時代情勢の変化に応じ、廃止することになった宅老所や障害者就労支援施設を衣替えした。高齢者に活躍の場を提供しながら、バンド演奏やアート教室も開き、さまざまな世代の人の交流の場にもなっている。



（右）柳町の宅老所は、現在は1カ所だけ

〜70代、生きがいや健康づくりを目的に働いている人が多い。同NPO法人は昨年5月、柳町に同様の食堂をオープンした。毎週火曜日に営業している。いずれもランチを提供している。よってサロンは、以前は障害者就労支援施設A型事業所だった。昨年4月の指定基準厳格化の影響で経営が難しくなり、今年3月末に廃止した。同NPOが運営していた宅老所はピーク時は7カ所あったが、現在は1カ所だけになっている。柳町の宅老

佐賀市のNPO 高齢者に働く場提供

約10人の有償ボランティアが登録。得意なことに応じて調理や給仕など担任している。唐人家の店舗で働いている女性には「募集チラシを見てやってみたいと思った。いろんな人と触れあえるので、働くのはやっぱり楽しいですね」と話す。同NPOの原田裕子さんは「宅老所とA型事業所を廃止することになったが、別の形で交流ができる場所にした」と考えた。さまざまな世代の人が気軽に集まって楽しむ場所にした」と話す。（山口真由）

所は2016年10月に開所していた。音楽演奏やお菓子作り、読み聞かせなどのイベントを開き、さまざまな世代の交流拠点となるよう努めている。高齢者が定期的に働く場所を提供する狙いもある。

（佐賀新聞 2018.7.12 付）

◎記事から読み取ろう

○「たすけあい食堂」「よってサロン」を開くNPO法人のねらいは何ですか。

◎広げよう・深めよう

○「よってサロン」で働いている人のことばからどんなことがわかりますか。

◎自分の考えをまとめよう

* 友達と意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。

○さまざまな世代の交流を、深めたり広げたりするためのアイデアを考えてみよう。